社会福祉法人 亀岡福祉会 広報

ひまわり

2023 7
2023年7月15日発行（隔月15日発行）

② 「あたりまえにはたらき えらべるくらしを」に思いをよせて
③ みんなの“思い”届けてきました！
④ 地域とのつながり NPO法人亀岡子育てネットワーク代表 安藤 様 インタビュー
⑤ ちょっと聞いてよ！第45回／今年は開催します！ ハートフェスタ2023
⑥･⑦ 亀岡福祉会決算報告
⑧ 職員に聞きました！ ／ ご寄付 ／ 時

●今月号の表紙写真：第二かめおか作業所 リサイクルグループ（幸 真さん）
毎日午前は回収、午後はパック処理の作業をがんばっています！毎月のお給料でおいしいものを食べるのが楽しみな幸さん。表紙の写真のために作業中に撮ったのでちょっと緊張!?しています。

発行 / 社会福祉法人 亀岡福祉会（法人本部）〒621-0033 京都府亀岡市稗田野町佐伯大門30-1
TEL:0771-24-2596 FAX:0771-24-2597 http://www.kamecomyu.net/

「あたりまえにはたらき　えらべるくらしを」に思いをよせて

第二かめおか作業所
所長　楢原　卓治

「みなさん！お久しぶりです。元気でしたか！？」と始まった５／24（水）第46回きょうされん全国総会が全国の代議員、関係者、約２００人による参集形式で４年ぶりに開催されました。いつの時も、つながりを大切に集まること、ともに行動することを軸に活動を進めてきたきょうされん運動もコロナ禍で大きな影響を受け、活動が制限されてきました。それでも『会えないけど！つながろう！』の活動は障害のある方たちの願いを真ん中に、全国のなかまとの絆をより強く結びつけてきたのも事実。オンラインという新たなつながる形も力にしながらも『やっぱり顔を見て、集まれるのはええな～！』と実感した総会でもありました。総会では発言の時間をたっぷりとり、「久しぶりに会えてうれしい！要望活動もがんばっている！」など、仲間の発言にも大きな拍手とたくさんの笑顔！やっぱり直に感じるリアクションはなんとも温かかったです。

今、《平和と人権》を強く意識せざるを得ません。世界を見ればいまだに「戦争」と言う言葉を目にし、心が締め付けられます。国内に目を向けても新型コロナが浮き彫りにした社会保障の脆弱さや軍事大国への仲間入りともみられる増大した防衛費予算の閣議決定。どこに向かうの？と不安は膨らみます。かつての経験から「平和な世の中でこそ、命と人権が守られる！」と私たちは知っているのに。誰かが言った「今が戦前」には絶対にしない。なによりも「平和」を守りぬき誰もが大切にされる地域を創っていきたいです。

わたしたちは今、大きな確信を手にしています。優生保護法裁判や介護保険優先原則をめぐる天海裁判、そして生活保護裁判、重要な人権裁判で原告の願いが受け入れられる勝訴判決が昨年から続いています。粘り強く実態を訴え、支援の輪を広げ世論を動かし、ともに行動した成果だとも言えます。この判決を未来に向けた人権を保障する礎にしましょう。

総会の翌日５／25（木）はきょうされん第46次国会請願行動です。こちらも全国の仲間がつどい行動したのは４年ぶり。詳しくは次のページ（3面）でご報告しますが、今次の署名で求めた請願項目は私たちの願いです。優生保護法問題の全面解決、新型コロナウイルス感染拡大の長期化による障害のある人の命と健康、事業所を守ってほしい、物価高で大きな影響を受けている障害のある人の生活と事業所の運営を守ってほしい、障害のある人が65歳になっても、必要な支援を自ら選んで、費用負担なく利用できるようにしてほしい。と、障害のある人たちのあたりまえの暮らしを望んでいるだけです。困難の根底には自己責任に基づいた国の社会保障施策にあります。全国総会や国会請願行動で集まり、ともに行動した私たち、そして全国で障害のある人たちの願いを柱に行動する皆さんと共に、障害者権利条約や昨年国連から出された勧告（総括所見）に学びながら、つながることを柱に障害のある人たちのあたりまえの生活が不安なく、自分らしく、働き、暮らせるよう、「あたりまえにはたらき　えらべるくらしを」に今一度思いを寄せて、だれもが平和で人として権利が守られる社会をともにめざしていきたいと思います。

みんなの“思い”届けてきました！

第46次国会請願署名にご協力いただきありがとうございました

署名到達　５，４７４筆　　募金到達　２８３，１６３円

昨年12月からスタートした第46次国会請願署名・募金運動も５月25日の国会請願行動をもってひと段落となりました。皆さまにご協力いただいたたくさんの署名を国会議員の方々に直接お渡ししてきました。筆数・募金額の目標達成とはなりませんでしたが、たくさんの方々のご協力のおかげでなんとか昨年度を上回る署名数となりました。この数年はコロナ禍などの要因もあり右肩下がりの結果が続いていましたが、昨年度を上回る大きな一歩となりました。皆様の日々のご協力の結果だと感じています。

さて、簡単ですが国会請願行動の様子をお伝えできればと思います。国会請願日、国会議員会館に全国から３００人を超える仲間が集まりました。亀岡からはメンバー、ご家族、理事長含む職員の計６名が参加しました。そして紹介議員になっていただいた国会議員２名の方や厚労省の方に、30分程の懇談をさせていただきました。旧優生保護法で傷つけられた人たち、メンバーのお給料の少なさ、物価高騰での給料と運営費の圧迫、人手不足、コロナ禍の留め置き問題などの日々のどうしようもない困りごとをお伝えしました。その中で、紹介議員の方々は「実情を知らないこともあり、自分でも調べ動いてみる」「人手不足はどこも深刻な問題だが、人との繋がりが大事な仕事ではより大きな問題。一緒にがんばりましょう」などのお返事で、真剣な表情や時に柔らかな笑顔で話を聞いてくださいました。参加したメンバーも「もっと仕事をがんばってお給料をたくさんもらいたい」「好きな人と一緒に楽しく過ごしたい。そのために必要なものも買えるようになりたい」などたくさんの夢を熱弁されていました。こういった願いが一つずつでも実現できる世の中になるよう私たちは願うと共に、気持ち新たに日々の支援や行動をがんばっていきたいと思います。

議員の方に直接思いを伝えることができました

参加者の感想

朝は眠たくて大変でした。全然緊張はなくて、議員さんに言いたいことは全部言えました。帰りはとても疲れたけどもう１回行きたいくらい楽しかったです。

かめおか作業所メンバー　山田さん

5月25日、皆さんの思いのこもった署名と共に厚生労働省との懇談に行ってきました。グループホームの環境を整え、重度の子ども達も入居できるようにして欲しい。そのためには職員確保のための報酬改善と重度加算をもっと付けてほしいと訴えてきました。

かぞくの会代表　幸さん

初参加でしたが、全国の会員の一斉行動は感動しました。
議員、厚労省側に対してもインパクトがあるだろうと思います。
参加者の声が聞けて、私自身も参考、励みにもなりました。
作業所間の交流が少しでもあればと期待します。

かぞくの会代表　水谷さん